

今号の主な記事

- 児童手当改正法案にかかるお知らせ.....2面
- 支所等で介護保険の相談会開催.....2面
- 「西宮・栲原交流事業」参加者募集...3面
- 親子広島バスツアーの参加者募る...4面

子ども笑顔輝くまちづくり

子どもを見守る輪が地域に広がっています



目印のステッカー(甲子園警察署管内)

次代をなう子どもたちのすこやかな成長は、家族はもとより地域社会にとっても大きな希望であり、夢です。しかし近年、全国的に子どもが犠牲になる事件や事故が増加し、子どもの安全が脅かされています。教育委員会は、学校園・家庭・地域社会の連携を図りながら、登下校時の事故や不審者による事件から子どもたちを守る取り組みをすすめて、「子どもの笑顔輝くまちづくり」をめざしていきます。

子どもたちは、家庭や学校園以外に、地域のなかで過ごす時間が多くあります。子どもたちの安全に関わるお気づきのことがありましたら、学校園内容によってはお近くの交番や警察署までお知らせください。皆さんのご協力をお願いします。

問合せは、青少年補導グループ(0798・35・3874)へ。

本市では、長年にわたり、子どもたちの健全育成と安全で安心な生活環境・地域環境づくりに、地域の皆さんが大きな役割をなわけています。

各地域では、自治会や青少年愛護協議会をはじめ、補導委員、各学校園PTAなど、多くの市民・地域団体の皆さんのご努力で、子どもの安全を守る多様な活動が行われています。

登下校時の安全配慮、地域の巡回パトロールや安全点検、学校園の安全ポイントア活動、「子どもを守る110番の家・ステーション」など、

市内に約2000カ所
子どもを守る緊急避難場所

「近所の家や商店などの入り口に、左上のようなステッカーを見かけたことはありませんか。これは、子どもたちが登下校時などに、不審者に出会うなど危険を感じたとき、助けを求める緊急避難場所の目印です。子どもを守る110番の家(西宮警察署管内)または「子どもを守る110番ステーション」(甲子園警察署管内)として、市内に約2000カ所指定されています。通学路周辺の一般家庭や商店などが、緊急時の子どもたちの保護と警察への通報を引き受けてくれます。



児童たちに声をかける安全パトロールの皆さん

地域の皆さんが通学路周辺をパトロール

学校周辺の安全を確保するため、青少年愛護協議会等の各団体の皆さんによる安全パトロール(見回り)が行われています(左上写真)。今春からは、パトロールをより目立たせ、犯罪の抑止効果を高める目的で、見回りの際に、蛍光色のジャンパーの着用などをお願いしています。

パトロールは、学校園周辺や通学路を中心に行われ、数人のスタッフが危険に目を光らせるとともに、子どもたちがいざつや声をかけるなど、温かく見守っていただいています。

市長からのメッセージ

明るい笑顔輝く子どもたちが、明日の西宮を創(つく)ります。本市は、子どもたちの健全育成のために、保護者・学校園・地域の諸団体等の皆さんと連携しながら、様々な取り組みをしてまいりました。

最近、登下校中に不審者からの被害にあつたり、交通事故や虐待にあつたりするなど、子どもの安全が脅かされています。本市では、これからも多くの皆さんより一層、安心・安全な学校園づくりに努力するとともに、多くの市民、地域社会の皆さんにご協力いただき、子どもたちを守る取り組みが行われています。

学校園周辺や通学路の巡回パトロール、下校時の子どもたちの安全を守る老人会のふれあい散歩、大学生による安全ボランティアなど実際に様々な活動が行われています。大人の目は、子どもを守る大きな力となります。これからは、子どもを温かいまなすだけでなく、子どもたちを見守っていただきますよう、よろしくお祈りいたします。

西宮市長 山田知